

## 平成 3 0 年 度 事 業 報 告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

### I 当法人の概況

#### 1 役員に関する事項

##### (1) 理事及び監事に関する事項

###### 理 事

定 数 9人以上13人以内（会長、副会長及び専務理事を含む）

任 期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤1人、非常勤10人、計11人

###### 監 事

定 数 2人

任 期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤2人、計2人

(平成31年3月31日現在)

職 名	氏 名	任 期	常勤 非常勤	報酬等	所 属
会 長	竹谷 千里	H30. 6. 21～ 令和元年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道大学 監事
副会長	山谷敬三郎	H29. 6. 20～ 令和元年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北翔大学 学長
理 事	庄司 直樹	〃	〃	〃	北海道中学校長会 対策部幹事
〃	森 政徒	〃	〃	〃	前北海道PTA連合会 副会長
〃	猪股 大輔	〃	〃	〃	北海道青年団体協議会 会長
〃	横島 義人	〃	〃	〃	北海道商工会連合会 総務部長
〃	嗟峨 仁朗	〃	〃	〃	北海道新聞社 編集局付研修機関 準備チーム担当部長

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
理事	林 進一	H29. 6. 20～ 令和元年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	札幌市清田区青少年 育成委員会連絡協議会 議長
〃	安野 裕子	〃	〃	〃	留寿都村青少年問題 協議会 委員
〃	荒木関 栄	〃	〃	〃	旭川市青少年育成部 連絡協議会 会長
専務理事	濱口登代喜	〃	常勤	〃	北海道青少年育成協会 事務局長
監事	西村 俊二	H29. 6. 20～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	〃	税理士
〃	酒元 辰也	〃	〃	〃	北海道歴史文化財団 専務理事

(2) 評議員に関する事項

定数 9人以上13人以内

任期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の  
終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤11人、計11人

(平成31年3月31日現在)

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	平野 雅嗣	H30. 6. 21～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道高等学校長協会
〃	神谷 敦	〃	〃	〃	北海道小学校長会 事務局幹事
〃	吉澤 政昭	H29. 6. 20～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道市長会 事務局長

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	山内 康弘	H29. 6. 20～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道町村会 事務局長
〃	木村 謙治	〃	〃	〃	北海道子ども会育成連合会 常務理事兼事務局長
〃	扇間 康弘	〃	〃	〃	日本ボーイスカウト 北海道連盟 副理事長
〃	中川 淳二	H30. 6. 21～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道社会福祉協議会 常務理事
〃	時田 昭子	H29. 6. 20～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道女性団体連絡協議会 副会長
〃	菅原 光宏	〃	〃	〃	北海道経済連合会 理事事務局長
〃	石田 健一	〃	〃	〃	北海道農業協同組合中央会 営農指導支援センター センター長
〃	稲垣 利彰	〃	〃	〃	札幌家庭裁判所 家事調停委員

## 2 賛助会員に関する事項

(平成31年3月31日現在)

種類	前年度末		当年度末		増減	
	数	単位	数	単位	数	単位
普通賛助会員 個人	60	人	59	人	-1	人
普通賛助会員 青少年関係団体	52	団体	51	団体	-1	団体
特別賛助会員	148	団体	148	団体	0	団体
合計	260	人・団体	258	人・団体	-2	人・団体

### 3 職員に関する事項

現在数 6名

(平成31年3月31日現在)

役職	氏名	常勤・非常勤の別
事務局次長	遠藤 善彦	常勤
主任	竹本 郁子	〃
主任	福田 拓哉	〃
専門指導員	千葉 祐一	〃
嘱託	工藤 かおり	〃
臨時主事	藤川 美由紀	非常勤

## II 事業に関する事項

### 1 平成30年度事業の実施状況

別添のとおり

### 2 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
平成30年5月31日	①平成29年度事業報告について ②平成29年度収支決算について(監査報告) ③評議員会の開催及び目的である事項について	承認 承認 承認
平成30年6月21日 (決議の省略)	①会長の選定について	承認
平成31年3月14日	①平成31年度活動方針及び事業計画(案)について ②平成31年度予算(案)について ③資金調達及び設備投資の見込みについて ④平成31年度資金管理運用執行方針及び計画(案)について	承認 承認 承認 承認

#### (2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
平成30年6月21日	①平成29年度収支決算について(監査報告) ②理事の補充選任について ③評議員の補充選任について	承認 承認 承認

(3) 基金管理運営委員会

開催年月日	内 容
平成 30 年 8 月 21 日	・平成 29 年度北海道青少年基金事業実績及び収支決算について ・平成 30 年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について ・平成 30 年度「青少年団体・グループ及び青少年顕彰」の決定について
平成 31 年 3 月 12 日	・北海道青少年基金の造成現況について ・北海道青少年基金運用益の交付・顕彰現況について ・平成 31 年度北海道青少年基金事業計画（案）について ・平成 32 年度以降の北海道青少年基金運用益交付団体の決定方針 について

3 所管庁への届出事項

届出年月日	届出事項
平成 30 年 6 月 25 日	平成 29 年度事業状況報告等の提出
平成 30 年 7 月 10 日	理事・評議員変更の届出
平成 31 年 3 月 25 日	平成 31 年度事業計画等の提出

4 行政機関から受けた監督上の処分又は指導に関する事項

検査年月日	検査内容	処分または指導
平成 30 年 4 月 19 日	平成 29 年度補助金事業実績報告に係る現地調査 (道環境生活部)	なし

5 事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当すると思われる事項は特にありません。

## Ⅱ－１．平成３０年度事業の実施状況

近年、青少年の育成を取り巻く状況は、いじめや不登校、児童虐待、有害情報の氾濫と少年の被害、ニートなど若者の社会的自立の遅れ、少年による重大事件の発生など、憂慮すべき様々な問題が生じており、行政や関係団体、企業、NPOなど様々な立場からの連携した取り組みが求められております。

このため、当協会は、平成３０年度においても北海道や関係機関・団体等と密接に連携し、青少年の健全育成のため、各般の事業の推進に努めました。

平成３０年度における事業の実施状況は、次のとおりです。

事業名	事業の概要	備考
<b>1. 青少年育成住民運動促進事業</b>	運動を効果的に推進するため、全道に青少年育成運動推進指導員を配置し、関係者との合同会議を開催するなどして、地域での青少年育成運動についての共通理解を深めるとともに、関係団体の連携による地域ぐるみの運動の促進に努めた。	
(1) 北海道青少年育成運動推進指導員の配置	<p>■定員 238人 《内訳》 (総合)振興局(青少年指導員)、教育局(社会教育主事) (総合)振興局管内(青年代表)各1人 札幌市10人、旭川市・函館市は各3人 小樽市・苫小牧市・帯広市・釧路市は各2人 その他の市及び町村各1人</p> <p>■活動 ・青少年育成運動(地域行事・活動に参加) ・地域団体等の事業を実施 ・非行防止、環境浄化(巡回パトロールなど) ・行政との連携(市町村行事等に参加) ・当協会の事業推進(地域住民に情報提供など)</p>	
(2) 青少年育成地域合同会議の開催(北海道との共催)	<p>全道14箇所(各(総合)振興局)で開催し、青少年育成運動推進指導員や市町村青少年行政担当者等が出席した。</p> <p>■日時 平成30年5月11日(金)～6月15日(金) ■会場 各(総合)振興局単位(14会場) ■対象 ・青少年育成運動推進指導員 ・市町村青少年行政担当者 ・青少年育成市町村民会議関係者</p> <p>■参加者 380名(総計) ■内容 ・平成30年度青少年育成施策の推進について ・少年非行の概況について ・平成30年度活動方針及び事業計画について ・意見交換</p>	
(3) 市町村民会議等の連携強化	地域における運動の中核である青少年育成市町村民会議(現在68市町村設置)の活動内容を把握し、市町村民会議等への啓発資料の配付や機関誌等による情報提供を行い、地域の連携の強化や運動の支援を図った。	

事業名	事業の概要	備考
(3) 市町村民会議等の連携強化	<p>■活動内容の紹介 当協会ホームページに青少年育成市町村民会議の活動内容を掲載したほか、当協会機関誌において、次の市町村民会議の活動内容を紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・えりも町青少年健全育成会</li> <li>・室蘭市青少年健全育成推進協議会</li> <li>・大空町青少年健全育成町民会議</li> </ul>	
(4) 青少年問題を考える地域懇話会の開催	<p>青少年に関する諸問題について学識経験者と地域の活動指導者等による懇話会を市町村民会議との共催により、前年度と同様2回開催した。地元関係者の参加により、地域の現状や課題解決の方策等について、活発な意見交換が行われた。</p> <p><b>江差町開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■日時 平成30年9月27日(木)</li> <li>■場所 江差町文化会館</li> <li>■共催 江差町青少年健全育成会議</li> <li>■後援 江差町教育委員会</li> <li>■テーマ 「地域づくりに向けた担い手育成と社会教育の役割」</li> <li>■参加者 地元青少年育成関係者 30名</li> <li>■出席者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題提供：北海学園大学大学院経済学研究科・経済学部地域経済学科 教授 内田 和浩</li> <li>話 題：「地域づくりに向けた担い手育成と社会教育の役割」</li> <li>・コーディネーター 北海道教育庁檜山教育局教育支援課 社会教育指導班主査 安間 邦雄</li> </ul> </li> </ul> <p><b>根室市開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■日時 平成30年11月14日(水)</li> <li>■場所 根室市総合文化会館</li> <li>■共催 根室市青少年健全育成市民会議</li> <li>■後援 根室市教育委員会</li> <li>■テーマ 「子どもたちの今を見つめ、地域で支え合うために」 ～子どもたちを健やかに育てるために、地域の大人は何をすべきか～</li> <li>■参加者 地元青少年育成関係者 32名</li> <li>■出席者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題提供：心のサロン Smiley 代表 佐々木 祥子</li> <li>話 題：「大人も子どもも み～んな笑顔になあれ♪」 ～子どもたちを健やかに育てるために、地域の大人はどうかかわっていくのか～</li> <li>・コーディネーター 北海道教育庁根室教育局教育支援課 社会教育指導班主査 吉光寺 勝己</li> </ul> </li> </ul>	

事業名	事業の概要	備考
<b>2. 青少年を育成する環境づくり推進事業</b>	青少年の健全な育成について、社会全体が取り組む環境づくりを進めるため、北海道青少年育成大会や青少年育成運動活性化研究協議会など関連事業を開催し、青少年問題についての共通理解を深めた。	
(1) 北海道青少年育成大会の開催 (北海道、国立青少年教育振興機構との共催) ※北海道胆振東部地震により中止	9月6日(木)に発生した北海道胆振東部地震の影響により、9月7日(金)に札幌市(かでの2・7)で開催を予定していた「北海道150年記念 北海道青少年育成大会(「少年の主張」全道大会)」は、全道的な停電など甚大な被害が発生し、復旧の目処が立たなかったことから、出席者等の安全確保のため、やむを得ず大会を中止し、後日開催についても、会場の確保などが難しいことから、本年度は開催を取りやめることとした。 なお、当大会内で開催予定であった、平成30年度「少年の主張」全道大会については、全道大会の審査員(5名)による書面審査を実施し、順位を決定した。 <b>■平成30年度「少年の主張」全道大会結果</b> (札幌市及び14(総合)振興局地区代表): 16人 <b>【最優秀賞】</b> 受賞者: (胆振代表)洞爺湖町立洞爺中学校3年 毛利 郁也 テーマ: 命の給食	
(2) 青少年育成運動活性化研究協議会の開催	青少年育成運動推進指導員のほか、道内各地の青少年育成関係者やボランティアを対象として、子供・若者育成支援の現状や課題、今後の支援や対策等について知識を深めるため、基調講演や各テーマを設けた分科会で、研究協議や意見交換等を行い、今後の子供・若者育成支援や青少年育成運動についての共通理解を深めた。 <b>■日時</b> 平成30年11月9日(金) <b>■場所</b> 道民活動センター(かでの2・7)大会議室ほか <b>■参加者</b> 北海道青少年育成運動推進指導員、青少年育成関係機関・団体の関係者、青少年育成運動を進めている住民組織の会員、各振興局・市町村関係職員、補導センター補導委員、更生保護関係者等 171名 <b>■内容</b> ・基調講演 演題: 「防犯活動が地域を変える」 —子どもを守り、地域がつながり、高齢者が幸せになる— 講師: 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部北方建築総合研究所地域研究部 部長 松村 博文 ・分科会 <b>第1分科会</b> テーマ: 「これからの地域活動を見つめ直す」 ~今、必要とされる取組と支援~(ワールドカフェ)	



事業名	事業の概要	備考
(2) 青少年育成運動 活性化研究協議会 の開催	<p>ファシリテーター：北海道教育庁生涯学習推進局 生涯学習課主査 木幡 淳史</p> <p><b>第2分科会</b> テーマ：「子ども達を地域で育むために」 ～犯罪のない安全で安心な地域づくり～ 話題提供者：自主防犯団体 いきいき行動隊 代表 前東 昭</p> <p>コーディネーター：北海道教育庁石狩教育局教育支援課 社会教育指導班社会教育主事 青山 智恵</p> <p><b>第3分科会</b> テーマ：「子ども達をネットトラブルから守るために」 ～ネット環境の現状と未然防止～ 話題提供者：独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター 奥田 美幸</p> <p>コーディネーター：北海道教育庁空知教育局教育支援課 社会教育指導班社会教育主事 尾形 行亮</p>	
(3) 明るい家庭 づくり道民運動 の推進	<p>本運動をより一層推進するため、「道民家庭の日」イメージキャラクター（ほーほーくん）を活用し、民間企業や関係機関等が主催する各種イベントに参加するなど普及活動を行ったほか、「道民家庭の日」啓発資料(資材)を市町村等の関係機関・団体に作成配付し、普及啓発を図った。</p> <p>また、各種啓発活動等を通じ「家族ふれあい優待制度」協賛店・施設の拡大に努めたほか、「道民家庭の日」絵画コンクールを実施し、全道の小・中学生や道民への応募の呼びかけや、道庁ロビーや札幌駅前通地下広場等における入賞作品展の開催により、「道民家庭の日」の普及啓発に努めた。</p> <p>さらに、市町村に対する明るい家庭づくり道民運動推進状況調査を実施（3年毎）し、道内での運動の推進状況を把握した。</p> <p>①「道民家庭の日」普及促進に伴う各種イベントへの参加</p> <p>■「北海道 150 年記念イベント」レバンガ北海道ホームゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成30年4月15日(日)</li> <li>・場 所 北海きたえーる</li> <li>・内 容 「北海道 150 年記念イベント」による道内市町村・道庁ゆるキャラ対決、写真撮影、啓発物配布等</li> </ul> <p>■「木育フェア」in アリオ札幌</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成30年7月11日(水)～12日(木)</li> <li>・場 所 アリオ札幌 2階 フードコート前</li> <li>・内 容 「道民家庭の日」ぬりえ広場、じゃんけん大会等</li> </ul> <p>■「北海道 150 年記念式典イベント」北海きたえーる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成30年8月7日(火)</li> <li>・場 所 北海きたえーる『水と緑の広場』屋外ブース</li> <li>・内 容 「道民家庭の日」ぬりえ広場、じゃんけん大会等</li> </ul>	

事業名	事業の概要	備考
<p>(3) 明るい家庭づくり道民運動の推進</p>	<p>■ THE サッポロビヤガーデンふるさと応援PRステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 平成30年8月8日(水)</li> <li>・場所 大通公園8丁目会場(サッポロビール主催)</li> <li>・内容 「道民家庭の日」クイズ大会、広報宣伝PR等</li> </ul> <p>■ 第11回北海道のうまいもの見~つけた! in アリオ札幌</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 平成30年11月3日(土)</li> <li>・場所 アリオ札幌 1階 ハーベストコート (イトーヨーカドーと道が主催)</li> <li>・内容 自画撮り被害の啓発活動、写真撮影、啓発物配布等</li> </ul> <p>■ テレビ放送 (HTB情報番組) による取り組み広報宣伝</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 平成30年11月16日(金)放送</li> <li>・撮影 アークス北24条店</li> <li>・内容 「家族ふれあい優待制度」協賛店としての取り組み</li> </ul> <p>※なお、11月18日(日)には店舗内で啓発活動を実施</p> <p>② 「道民家庭の日」街頭啓発活動 (道、道警、道教委と共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日時 平成30年4月～平成31年3月 ※9月・1月中止 (月1回/延べ10回)</li> <li>・実施場所 札幌駅西口コンコース</li> <li>・配付資材 「道民家庭の日」啓発ポケットティッシュ及びリーフレット 総計 6,000個</li> </ul> <p>③ 「道民家庭の日」啓発資料等の作成・配付等</p> <p>各市町村や全道の小中学校、児童館、関係機関・団体などに配付したほか、各種事業やイベント等で活用し啓発に努めた。</p> <p>(リーフレット(90,000部)、カレンダー(3,500部)、ポケットティッシュ(30,000個)、メモ帳(5,000部)、ぬりえ帳(5,000部)、カラーシール(3,000シート)、クリアファイル(5,000枚)、手提げ袋(3,000枚)、大・ミニのぼり(計150枚)ほか)</p> <p>④ 家族ふれあい優待制度の普及促進</p> <p>各振興局や市町村、推進指導員に情報提供や協力依頼をしたほか、民間企業等が主催する各種イベントへの参加や啓発活動において協賛協力等のPR活動に努めた。</p> <p>《協賛店・施設》</p> <p>(ホテル・旅館、飲食店、博物館・水族館、テーマパーク、果樹園、ボウリング場、スーパー・商店、キャンプ場など 計540ヶ所(前年度540ヶ所))</p> <p>⑤ 「道民家庭の日」絵画コンクール2018の実施</p> <p>全道の小・中学校児童生徒の応募原画の中から審査により入選作品を決定し表彰するとともに、入賞作品展を開催した。(応募総数：60校/340点)</p>	

事業名	事業の概要	備考
<p>(3) 明るい家庭づくり道民運動の推進</p>	<p>□最優秀賞 2点(賞状、盾)</p> <p>□小学生の部 受賞者：札幌市立白楊小学校4年 北川 将成 題名：「家族で公園！水風船たのしいな！！」</p> <p>□中学生の部 受賞者：美幌町立美幌中学校1年 橋本 さくら 題名：「あふれる笑顔」</p> <p>(以下、各部門毎に入選作品を決定)</p> <p>□優秀賞 各 2点(賞状、盾) □優良賞 各 6点(賞状、盾) □佳作 24点(賞状) □学校賞 2校(賞状)</p> <p>■絵画コンクール入賞作品展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道庁1階「道民ホールA」(入場者数：253名) (平成30年11月15日～16日)</li> <li>・札幌駅前通地下広場 (入場者数：225名) (平成31年 1月16日)</li> <li>・各総合振興局・振興局庁舎 (平成30年12月 3日～ 5日/檜山) (平成30年12月10日～17日/オホーツク) (平成30年12月25日～28日/根室) (平成31年 1月21日～25日/胆振) (平成31年 2月12日～15日/渡島) (平成31年 2月18日～22日/宗谷) (平成31年 3月4 日～ 8日/上川)</li> </ul> <p>⑥明るい家庭づくり道民運動推進状況調査の実施 道内全市町村(179市町村)に対し調査を実施した結果、約9割の市町村が運動を推進していると回答を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「運動を推進している」 157市町村</li> <li>・「運動を推進していない」 22市町村</li> </ul> <p>※22市町村中、14市町村が今後推進したいと回答</p>	
<p>(4) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進</p>	<p>7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」(国)、「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」(道)、11月の「子供・若者育成支援強調月間」(国)の一環として関係団体と街頭啓発活動を実施したほか、関連事業と連動させながら、非行防止のための諸活動を推進した。</p> <p>①関係団体と協力した街頭啓発活動等の実施</p> <p>「夏・冬の暴力追放運動」街頭啓発活動</p> <p>■共 催 公益財団法人北海道暴力追放センター</p> <p>■日 時 平成30年 7月 (4日間/延べ4回) 平成30年12月 (4日間/延べ4回)</p>	

事業名	事業の概要	備考
(4) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進	<p>■実施場所 地下鉄駅前等(札幌市内)</p> <p>■配付資材 「道民家庭の日」啓発ポケットティッシュ及びリーフレット、メモ帳 総計 700個</p> <p>また、7月の強調月間での街頭啓発等に係る啓発資材として、「道民家庭の日」ポケットティッシュを各(総合)振興局に配付し、非行防止活動の一層の推進に努めた。</p> <p>■配付部数 ポケットティッシュ 計 13,500個</p> <p>②麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーンビデオ「DRUG」の貸出 麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーン映画「DRUG」のビデオテープの貸出について当協会ホームページで周知を図った。</p> <p>③未成年者の飲酒・喫煙防止活動の促進 当協会のホームページに喫煙と健康の問題に関するサイトを設け啓発したほか、未成年者喫煙防止対策推進協議会に出席し、未成年者の喫煙防止活動の一層の充実を図った。</p> <p>■日 時 平成30年11月21日(水)</p> <p>■場 所 かでる2・7 6階610会議室</p> <p>④有害情報から青少年を守る活動の推進 北海道や学校関係者、情報通信企業などにより構成する北海道青少年有害情報対策実行委員会などの一員として、インターネットや携帯電話による有害情報から青少年を守るため、各種啓発活動を進めた。</p>	
(5) 「大人が変われば、子どもも変わる」運動の推進	<p>啓発資料を市町村及び関係機関・団体等に配付したほか、当協会が開催した各種大会等を通じ、運動の周知に努めた。</p> <p>(配付部数) 「大人が変われば、子どもも変わる」啓発パンフレット 3,000部</p>	
(6) 「北海道青少年のための200冊」の選定推奨	<p>①「北海道青少年のための200冊」普及事業 北海道学校図書館協会、北海道読書推進運動協議会、各出版社の協力を得て、青少年の読書普及の一環として「北海道青少年のための200冊」(平成30年度版は、52冊を更新)を選定し、図書目録や啓発ポスターを作成し、全道の幼稚園や小・中・高の学校など関係方面に配付するとともに、ホームページに掲載するなど、良書の情報提供に努めた。</p> <p>(配付部数) ・平成30年度図書目録 12,000部 ・平成30年度新選図書目録 11,000部 ・200冊啓発ポスター 2,900部</p> <p>(協賛出版社) 48社</p>	

事業名	事業の概要	備考
(6) 「北海道青少年のための200冊」の選定推奨	<p>②第30回読書感想画中央コンクール・第5回全道コンクール 北海道学校図書館協会、毎日新聞社の主催により対象図書として活用された。</p> <p>③第64回青少年読書感想文全道コンクール・第44回北海道指定図書読書感想文コンクール 北海道学校図書館協会、毎日新聞社の主催により、「協会長賞(2名)」を贈呈し、青少年の読書の普及活動を支援した。</p>	
(7) 青少年育成関係団体懇談会の開催	<p>青少年育成関係団体・機関が一堂に会し、相互の団体活動の連携協力や青少年健全育成の効果的な促進について情報交換などを行ったほか、話題提供により不登校児童生徒の現状を把握し、共通認識を深めた。</p> <p>■日時 平成31年2月1日(金) ■場所 かでる2・7 10階 1050会議室 ■参加団体 18機関・団体 ■内容 ・各団体活動状況報告、意見交換等 ・話題提供 演題: 「道内の自画撮り被害の現状など」について 説明: 北海道警察本部生活安全部少年課課長補佐 大川善照</p>	
(8) 広報啓発活動の推進	<p>①啓発資材の作成・配布 「道民家庭の日」絵画コンクール入賞作品12点による2019年カレンダーを作成し、市町村、小・中学校、関係機関・団体に配付し、青少年育成運動の普及促進に努めた。 (配付部数) 2019年カレンダー 3,500部</p> <p>②協会機関誌の発行 協会の事業報告や関係機関の関連記事など、青少年育成運動の推進に対する理解と関心を高めるため、機関誌を年2回発行し、各総合振興局・振興局、市町村、関係機関・団体、賛助会員等に配付し、広報啓発を行った。 (配付部数) 協会機関誌「育む」 (各回) 2,500部</p> <p>③講師派遣の実施 各振興局、市町村、育成団体等が開催する各種研修会に講師を派遣し、全道の青少年育成運動の現状と課題等について講演を行った。(派遣回数 4回/総参加者 93名)</p> <p>■派遣場所 ・宗谷管内市町村教育委員会研修会 (豊富町/参加者57名) ・釧路管内北海道青少年育成運動推進指導員及び行政担当者合同研修会 (釧路市/参加者10名) ・渡島青少年育成運動推進指導員会研修会 (福島町/参加者15名)</p>	

事業名	事業の概要	備考
(8) 広報啓発活動の推進	<p>・後志管内青少年育成運動推進指導員協議会研修会 (倶知安町／参加者11名)</p> <p>④ホームページ・SNSの活用 インターネットの特性を活かした、ホームページをリニューアルし、大会や研究協議会の開催予告及び結果、絵画コンクール作品募集等の記事や出版物の電子版を掲載したほか、SNS(フェイスブック)を活用し、若年層等への情報発信に努めた。</p> <p>⑤講演録集の作成・配布 青少年問題についての理解を深めるため、青少年育成運動活性化研究協議会や、他の基調講演の内容を取りまとめた講演録集「次代をみつめて'18」を発行し、各市町村・推進指導員・関係機関等に配付した。 ■配付部数 700部 ■内 容 ・名 称：青少年育成運動活性化研究協議会 演 題：「防犯活動が地域を変える」 一子どもを守り、地域がつながり、高齢者が幸せになるー 講 師：松村 博文 (地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部北方建築総合研究所地域研究部長)</p> <p>・名 称：平成29年度子供・若者育成支援のための 地域連携推進事業(中央研修大会) 演 題：「若者を孤立させない支援の取組」 ～社会全体でつながり、支える視点から～ 講 師：谷口 仁史 (特定非営利活動法人NPO スチューデント・サポート・フェイス代表理事)</p>	
<b>3. 社会参加促進事業</b>	<p>青少年の社会参加を促進するため、地域の青年が地域づくりに主体的に参画し、その活動を通して地域活動の中核的な担い手として成長することを促進するため「北海道青年活動元気づくりプロジェクト」事業を実施するとともに、青年の地域活動の活性化や地域間の交流・ネットワークづくりを促進するため「青年活動元気づくり実践セミナー」を開催した。</p>	
(1) 青少年の社会参加・体験活動等への支援 (北海道青少年基金事業)	<p>北海道青少年基金の充実を図るため、関係機関・団体等に対し募金活動を行った。 また、運用益事業では、青少年団体・グループに助成し、青少年の社会参加活動を促進するとともに、他の模範となる青少年団体を顕彰した。</p>	

事業名	事業の概要	備考
<p>(1) 青少年の社会参加・体験活動等への支援 (北海道青少年基金事業)</p>	<p><b>①募金活動</b> 道職員や各関係団体への協力要請、新成人記念募金、施設や運用益交付事業実施時の募金箱の設置依頼、当協会実施行事等で募金の呼び掛けを行った。</p> <p>■基金造成実績 募金実績額：111万2,287円（予算額：130万円） 基金累計額：3億3,351万6,490円</p> <p><b>②運用益交付等事業</b></p> <p>■助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付団体数 44団体（申請数：44団体）</li> <li>・交付総額 330万円</li> </ul> <p>■顕彰事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の部 1団体（推薦数：1団体） 特定非営利活動法人 ezorock（札幌市） 平成30年11月9日開催の青少年育成運動活性化研究協議会にて、表彰状及び盾を贈呈した。</li> </ul>	
<p>(2) 北海道青年活動元気づくりプロジェクト事業の推進</p>	<p><b>①「元気づくりプロジェクト」助成事業</b> 地域の青年団体・グループが行う地域の活性化活動に対し、交付金を交付し活動の推進を図った。</p> <p>【交付青年団体グループ名・事業名】</p> <p><b>特定非営利活動法人ジェルメ・まるしえ</b></p> <p>■事業名：まるフェス2019 ■日時：平成31年3月2日（土） ■場所：花川南コミュニティーセンター（石狩市） ■参加者：49名</p> <p><b>特定非営利活動法人 ezo rock</b></p> <p>■事業名：GREEN COLLEGE ■日時：平成30年12月19日（水） 平成31年 1月15日（火）、22日（火）、 29日（火）2月5日（火） 計 5回開催 ■場所：ezo rock コミュニティスペース（札幌市） ■参加者：59名</p> <p><b>第7回 復興支援 東北の物産販売 高校生プロジェクト in 岩見沢</b></p> <p>■事業名：「復興支援のこれまでとこれからを考える」集い ■日時：平成31年2月16日（土） ■場所：まなみーる（岩見沢市民会館／文化センター） ■参加者：50名</p>	

事業名	事業の概要	備考
<p>(2) 北海道青年活動 元気づくりプロジェクト事業の 推進</p>	<p><b>クスろ</b>  <b>■事業名</b>：クシロソーシャル大学  『青年による持続可能な地域づくり  ～地域課題発見から地域魅力の情報発信まで～』  <b>■日 時</b>：平成30年10月10日（水）  10月13日（土） 計 2回開催  <b>■場 所</b>：豊文堂書店喫茶ラルゴ（釧路市）  <b>■参加者</b>：64名</p> <p>②「青年活動元気づくり実践セミナー」の開催  地域活動を行う青年に対し、活動の活性化のための課題や今後の進め方などの実践的なノウハウを学ぶとともに、地域間の青年のネットワークづくりを促進するため、一般財団法人北海道青年会館と共催し、実践セミナーを開催した。  <b>■日 時</b> 平成30年6月30日(土)～7月1日(日)(2日間)  <b>■会 場</b> 北海道青年会館(札幌市北6条西6丁目)  <b>■対 象</b> 地域で活動している、又は活動を計画している者  (概ね20歳から40歳までの者)  <b>■参加者</b> 10名  <b>■関係者(講師等)</b>  ・函館市地域交流まちづくりセンター長 丸藤 競  (指導・助言者)  ・北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課  社会教育・読書推進グループ主査 木幡 淳史</p> <p><b>■内 容</b>  <b>1日目</b>  ・開会式、オリエンテーション  ・講演  演題：「“ほしい未来”のつくりかた ～座学編～」  講師：函館市地域交流まちづくりセンター長 丸藤 競  ・ワークショップ①  「“ほしい未来”のつくりかた ～デザイン編～」  (アイデアソン、マンダラート作成、個人ワークなど)</p> <p><b>2日目</b>  ・ワークショップ②  「“ほしい未来”のつくりかた ～実践編～」  (グループ企画協議、グループ発表、全体総括)  ・閉会式</p>	
<p>4. 国や中央団体等 との連携</p>	<p>関係機関・団体の事業を共催により実施するとともに、関係団体が実施した事業に協力した。</p>	



事業名	事業の概要	備考
(1) 北海道・東北ブロック研修会、中央研修大会、青年リーダー研修会の参加	<p>①北海道・東北ブロック研修会</p> <p>■日時 平成30年9月11日(火)</p> <p>■場所 秋田市にぎわい交流館(秋田県)</p> <p>■参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 4名</p> <p>②中央研修大会</p> <p>■日時 平成30年11月26日(月)～27日(火)</p> <p>■場所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)</p> <p>■参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 6名</p> <p>③青年リーダー研修会</p> <p>■日時 平成31年1月28日(月)～30日(水)</p> <p>■場所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)</p> <p>■参加者 青年活動元気づくりプロジェクト団体 2名</p>	
(2) 「少年の主張」全道大会	<p>北海道、国立青少年教育振興機構との共催により「少年の主張」全道大会を開催(書面開催)するとともに、作文内容を掲載した作品集を作成し、全道の中学校、市町村、関係機関等に配付したほか、ホームページ及び当協会機関誌に掲載した。</p> <p>(配付部数) 「少年の主張」全道大会発表作品集 1,000部</p>	
(3) 北海道児童館連絡協議会の事務局業務の受託	<p>道内の児童館で構成する北海道児童館連絡協議会の事務局業務を行った。</p> <p>(北海道児童館連絡協議会総会の開催)</p> <p>■日時 平成30年7月17日(火)</p> <p>■場所 第二道通ビル2階 2E会議室</p>	
(4) 「日本の次世代リーダー養成塾」道内高等学校生の派遣事業に対する協力	<p>本道の青少年の自立を促し、ボランティアや国際貢献、起業などに取り組む意欲を向上させるため、次代の北海道を担う青少年育成協議会の構成機関として協力した。</p>	